



産後の子宮収縮と出血

妊娠中赤ちゃんを入れていた子宮は分娩後急速に小さくなります（収縮します）。妊娠中は子宮の筋肉の中に多数の血管が走り、胎盤に十分な血液を供給しています。従って、分娩後胎盤がはがれた所には多数の血管がむき出しとなり、そこからの出血が始まります。この出血を止めるために子宮は大急ぎで収縮しなくてはなりません。分娩後に子宮の収縮を促すため子宮を冷やしたり、出血を少なくする目的で子宮収縮剤を服用していただきます。また、赤ちゃんが乳首を吸うとおなかが痛くなることがありますが、神経反射により子宮収縮ホルモンが分泌されるためですから心配はいりません。

このような子宮の収縮により、出血は減ったり増えたりしながら次第に減少していき、約1か月でなくなります。増えたとしても通常の月経のピーク時の出血量を越えていなければ心配する必要はありません。また、出血が2か月におよんだとしても子宮がきちんと収縮さえしていれば心配はいりません。

